

平成26年2月市議会定例会一般質問発言通告書（発言順）

◎ 代表質問

いばら月曜会

10番 簀戸利昭

1. 平成26年度一般会計予算について

- 1) いばらっ子イノベーション35推進事業について伺う。
- 2) 市立高校新築の予算化について伺う。
- 3) 四季が丘団地企業誘致補助金について伺う。
- 4) がんばる地域応援補助金について伺う。
- 5) 住宅リフォーム補助金及びいばらぐらし住宅新築補助金について伺う。

2. 大江残土処理場の有効利用について

大江残土処理場をどの様に有効利用されるのか伺う。

◎ 個人質問

2番 河合謙治

1. 電子市役所の構築について

ICTを有効に活用して、行政事務の効率化だけでなく、市民サービスのスピード化、正確さの向上をより一層推進していかなくてはならないと思われま

す。第6次総合計画後期基本計画の中でも、基本方針として「ICTを活用した事務の効率化・高度化を図り、市民サービスの向上に努めるとともに、市民との行政情

報の共有、市民ニーズの行政運営への反映など、ICTを通じて市民と行政とが双方向に情報交流できる環境を整備する」とうたわれています。そこで、

1) 具体的にどのように推進をされているのか、今後どのような推進をされるのかお伺いいたします。

2) インターネットの活用は、当然のように行われていますが、パソコンがインターネットにつながっているということは、ハッカー行為に遭うかもしれないということを前提に考えておかなければいけません。

市には、重要なデータがたくさんありますが、ソフト面、ハード面につきまして、その対策は十分にとられているのかお伺いいたします。

3) サーバ、パソコンのハードディスクは、クラッシュする可能性があるということを知った上で、システムダウン時の対策は十分にとられているのかお伺いいたします。

20番 森本典夫

1. 市役所女性職員の課長級以上の登用について

井原市役所には、現在、課長級以上の女性幹部は4人です。これではあまりにも少なすぎると思います。

女性としての「感性」や「ものの見方・考え方」を市政執行上で大いに反映させるため、もっともっと女性職員を課長級以上に登用すべきではないですか。

2. 「セルフネグレクト」の該当者等について

ご飯を食べない、ごみを捨てない、必要な薬を飲まない、介護サービスを受けない等、生活の一切を放棄してしまう「セルフネグレクト」。

孤独死の8割がこの「セルフネグレクト」と言われています。

井原市にはこの「セルフネグレクト」該当者あるいはこれに陥りそうな方はおられませんか。

3. 不燃性粗大ごみの回収品目を増やすことについて

現在、20品目（小分けの17品目を含むと37品目）を回収していますが、回収品目を増やしてはどうですか。

4. 公共施設内の洋式トイレの便座の「ヒヤッ」を解消することについて

市内の公共施設内にある洋式トイレで、特に冬場、便座に座った時「冷たいのでびっくりして体に悪い。何とかしてほしい。」と言われる方がおられます。

僅かの費用で「ヒヤッ」を解消する方法がありますので、その対策を講じてはどうですか。

5. 街路灯（都市照明）の点検を強化すべきことについて

この問題は、6年前の平成20年3月議会で取り上げました。その当時、かなりの頻度で点検していると言われていました。

しかし、現在、長期間点灯してない箇所が目につきます。ということは今の点検回数では不十分だということになるのではないのでしょうか。市民の安心・安全の確保のため、点検を強化すべきではないですか。

6. 就労継続支援A型事業所の創設の実現について

平成25年9月議会で、「市として就労継続支援A型事業所の創設のために強力な援助をすべきだと思いますが」と提言いたしました。

この時のお答えは「A型事業所が創設されるよう、現在あるB型事業所（芳井ふれあい作業所、こだま園東江原ワーク、せいび夢空感）からA型への転換や、B型事業所への併設ができないかなど、まずは市内事業者に働きかけていきたい。」とのことでした。

あれから約半年経ちました。市内事業者への働きかけの状況とA型事業所創設の望みはありそうですか。働きかけの詳細と今後の市としての方針をお尋ねいたします。

7. 就学援助制度の新しい3項目を加えるための改善について

平成24年12月議会で、「国は、就学援助制度を改正し、今までの援助項目に新たに、クラブ活動費、PTA会費、学級会（生徒会）費の3項目を加えまし

た。井原市でもこの3項目を援助項目に加えて実施してはどうか」と提言いたしました。

その時のお答えは「この制度は、憲法第25条の生存権、26条の教育を受ける権利、教育基本法第4条の教育の機会均等を根幹にしていることは承知している。他の福祉制度等との整合性を鑑みながら、今後援助の在り方について研究していきたい。」とのことでした。

その後の研究結果はどうになりましたか。その詳細をお尋ねいたします。

8. 「まる三重ホカクン」作戦のその後の調査・研究について

平成24年12月議会と平成25年6月議会の2回にわたって、イノシシ、サルなどの捕獲で、三重県が実施している「まる三重ホカクン」作戦を導入してはどうかと提言いたしました。

この問題は、「喫緊の大きな課題であり、一日も早く現地視察をしたいと思っており、相手の都合もありますが、7月には視察に行きたい。」とのことでした。

視察後の検討結果を詳細にお聞かせください。

12番 三輪 順治

1. 井原市の減災・防災対策について

本市では、現在「地域防災計画」の見直しが行われている。

この計画は、大雨や暴風時等における防災対策と、近い将来想定される南海トラフ地震等を前提とした大地震の際の防災対策の2つから構成されている。

一般的に、「地震災害」では、予測が非常に困難であることに加え、被害が広域に及ぶこと、また、火災等の2次災害、同時多発的な面を持つだけに、平時における備えが重要である。

以下、地震災害対策についてお尋ねしたい。

1) 南海トラフ地震による巨大地震に関連し、これが発生した際の予測される最大震度と、現計画見直しに伴う各種対策についてお尋ねしたい。

①井原市における最大震度が想定される区域概況について

②市内の旧耐震基準（昭和56年5月以前に建築されたもの）で、木造の民間住宅の棟数について

③先進地で取り組まれている「耐震シェルター」という、「自分の命」を「自ら守る」ことの仕組みを、本市も採用されたらと思うが、この提案について

2) この度の計画案では、地域の安全・安心を、住民みんなで助け合うといった「共助」の考え方も前面に押し出されているが、これに関し2点お聞きしたい。

①自主防災組織とは何ですか。また、現在までの組織数と、その組織が担当している人口カバー率と、今後の育成促進を目指す目標数について

②市民に対する「防災士」の養成の実績と、期待される効果及び今後の取り組みについて

あわせて、学区ごとに設置されている、市のパートナーシップ推進員への「防災士」資格取得について

3) 災害時の情報（放送と通信）の入手手段について、現状とあわせ、中・長期的な対応策についてお聞きしたい。

特に、市の財産としての「緊急告知端末器」（お知らせくん）の活用、井原放送の活用、無線系としての携帯メール等の具体的活用策について明らかにしていただきたい。

1 番 西 村 慎次郎

1. 社会保障・税番号制度について

社会保障・税番号制度の概要と井原市の取り組み状況について伺う。また、井原市の今後の取り組みと対応方針について伺う。

1. 市内の基幹産業の振興と今後について

- 1) 市内には明治ごぼうや青野のぶどうなど全国に誇れる農作物があるが、今まで市が行ったこれらに対する農業施策と今後の展望を伺う。
- 2) 井原デニムを全国に今まで以上発信していくことが必要と思うが今まで市が行った施策と今後について伺う。

2. 市道の維持管理について

- 1) 生コンなどの材料支給の現状と今後について伺う。
- 2) 例年地区において行われる草刈作業の現状と今後について伺う。
- 3) 市道の通行支障木の伐採を市と地域の連携によって行ったらどうか伺う。また市として支援していただく施策がないか伺う。

1. 井原市民病院の全般について

- ①市民病院の黒字経営に向け、どのようなアイデアを出し、毎年の運営をされているのか、また新年度についてはどうするのか伺う。
- ②10年20年後を見据えた医師、看護師の後継者を、どのように考えているのか。また、医師確保についてどのような施策を考えているのか伺う。
- ③医師、看護師の著しい超過勤務は存在するのか伺う。
- ④予防医療、福祉医療、病院機能の基盤整備である医療の安全管理、医療の質管理、危機管理を含め、井原市としては、どういったビジョンを考えている

のか、病院長のビジョンも合わせて伺う。

7番 坊野 公治

1. 井原市のシティプロモーションについて

近年まちづくりの施策として、シティプロモーションに取り組む自治体が増えてきている。シティプロモーションとは、まちの魅力を創造・発信することで、地域そのものを全国に売り込むことである。井原市のこれまでのまちづくりに対する取り組みと、今後の考え方について伺う。

2. でんちゅうロードの設置について

現在、「でんちゅうくん」が井原市のPR活動に活躍している。さらなるPRとして、井原駅から田中美術館までの歩道に、井原商工会議所青年部が行っている事業「ちびっこ田中さんあつまれ」で制作している最優秀作品のブロンズ像を設置し、「でんちゅうロード」として整備してはどうか伺う。

6番 三宅 文雄

1. 中心市街地における都市基盤の整備について

1) 井原市第6次総合計画後期基本計画の中で、「井原駅周辺において、民間活力による都市機能の集積を促進することにより、様々な世代の人々が集まりやすい、本市の核となる都市拠点にふさわしい中心市街地の形成に努めます。」と示しておられます。そこで、井原駅前通り賑わい創出事業について、今年度の実績と、今後どのように事業を進めていこうと考えておられるのか伺います。

2) 井原市の都市計画（用途地域の指定、都市計画道路の指定）は、既に見直す時期が来ていると思うが、今後社会情勢を踏まえながら検討してはどうか伺います。

1. 介護予防事業の平成25年度実施状況と平成26年度の展開について

「心身ともに健康で天寿を全うする」というのが市民共通の思いであり、願いでもある。

要介護状態とならぬよう、常日頃から健康の保持・増進や介護予防に努めていくことが大切である。

「井原市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第5期）」に基づき、平成25年度においてどのように介護予防事業を実施したのか、また平成26年度においてどのように展開するのか、市長の考えを伺う。

16番 佐藤 豊

1. いばらっ子生活リズム向上プロジェクトについて

「いばらっ子生活リズム向上プロジェクト」が、平成25年度からスタートしています。この目的は、本市の幼児・児童・生徒の基本的な生活習慣の定着と生活リズムの向上と改善に取り組み、また、子どもの意欲や体力の向上、情緒の安定を図ることです。そのために、現状の問題点を把握するためのアンケートを実施することから始め、講師を招いての研修会等を実施し、親子での生活リズムの向上に向けたプロジェクトを推進されていると聞きますが、現状での成果と今後の取り組みについてお聞かせください。

2. インターネット依存症対策について

インターネット依存症が社会問題化し、その対策が急がれる現状にあるように聞きます。1件目に質問した「いばらっ子生活リズム向上プロジェクト」の紹介冊子の「井原市の実態と課題」にパソコンや携帯電話の使用時間が掲載されていました。あくまでも平均時間であり、依存傾向にある児童・生徒がいるのではと危惧するところです。

厚生労働省のアンケート調査によれば、現在、全国の中高生52万人がインターネット依存症であると推計されています。依存症になると「ひきこもり・学力

低下・借金等」の多くの問題を抱えることから教育現場や関係機関の早急な対策が急がれます。本市の対策状況と今後の取り組みについてお聞かせください。

3. 消防団支援法の成立を受けての本市の対応について

近年、全国各地で豪雨や台風などの自然災害が頻発する中、全国の自治体に組織化されている消防団の存在と重要性は地域・住民生活の安心の柱であり、その維持強化が強く求められています。しかし、昨今の現状は、消防団員の高齢化と共に新入団員の確保が難しくなっており、地域防災力の低下が懸念される状況にあり、組織の拡充と処遇改善が急がれていました。そうした中、平成25年12月に「地域防災力充実強化法」（消防団支援法）が成立し施行されました。同法は、消防団を「将来にわたり地域防災力の中核として欠くことのできない代替性のない存在」と定義し、消防団の抜本的な強化を国や自治体に求め、団員の処遇改善や装備品、訓練の充実に向けた予算が確保されています。本市としての、同法の趣旨に則った改善点について考えをお聞かせください。

4. 橋梁の長寿命化計画について

新年度予算で新たに橋長5メートル以上15メートル未満の橋梁点検を行うこととなっているが、15メートル以上の橋梁長寿命化の現状と5メートル以上15メートル未満の橋梁長寿命化計画の取り組みについてお聞かせください。

5番 惣 台 己 吉

1. 井原市のスポーツ振興について

1) 市内のスポーツの現状について伺う。

2) スポーツ推進計画における具体的な事業について、以下の3点を伺う。

①生涯スポーツの推進について

②競技スポーツの推進について

③健康づくり・体力づくり・仲間づくりとしてのスポーツの推進について

3番 荒木 謙 二

1. 井原市経済・雇用対策事業について

1) 平成25年度の井原市経済・雇用対策事業補助金の申請件数、また成果、課題について伺う。

2) 平成26年度の経済・雇用対策について伺う。

14番 大 鳴 二 郎

1. 再生可能エネルギー（太陽光発電システム）の現況と活用について

原子力発電所の事故から3年が経過しようとしているなか、国でも原子力発電の利用について論じられており、日本は資源の乏しい国であるため国民の生活や社会経済において安定的な電力供給はきわめて大切なことである。ここ数年再生可能エネルギーが注目されているが、環境面ではやさしいが安定性がないとも言われている。再生可能エネルギーについて、本市における現在の状況及び今後の取り組みについて伺う。

①太陽光などの発電装置の導入には現在どのような補助制度等があるか。設置者のメリット及び国・県・市の補助金について伺う。

②現在まで市内で太陽光発電システム装置はどれくらい導入されているか伺う。（公共施設・民間と企業など）

③太陽光発電システムを導入した場合、余剰電力の電力会社への売電の現在の電力買取価格はいくらか。余剰電力の売電価格の引き上げで住民の負担はどのようなのか伺う。

- ④太陽光発電などの再生可能エネルギーを利用した発電装置の導入普及に市は民間を含め積極的な取り組みをすべきと思うがどうか伺う。
- ⑤避難場所となっている施設などへの発電装置の設置は現在どのようになっているか、長時間の停電に対応できるか伺う。
- ⑥年次的に緊急度の高い施設から再生可能エネルギーを利用し、長時間の避難などに対処できるように、蓄電可能なもので設置すべきと思うがどうか伺う。
- ⑦再生可能エネルギーの開発、導入を進めようとした場合の条件は何が必要か伺う。